

2021年3月11日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、ブルックマンテクノロジーを子会社化

イメージセンサの開発メーカーであるブルックマンテクノロジーを子会社化し
3D イメージセンシング市場へ本格参入

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、CMOS イメージセンサの開発・販売を行う静岡大学発のベンチャー企業、株式会社ブルックマンテクノロジー(本社:静岡県浜松市、代表取締役社長:青山 聡、以下 ブルックマンテクノロジー)の発行済み株式の89.1%を取得し、2021年3月中に子会社化の手続きを完了する予定です。

ブルックマンテクノロジーとは2017年に資本業務提携を行い、3D イメージセンシング領域の研究・開発を共同で進めてきました。今回の子会社化により、今まで以上に連携を強化し、今後市場拡大が予想される3D イメージセンシング市場への本格参入を目指します。

TOPPAN



BROOKMAN TECHNOLOGY

■ 背景・目的

近年、スマートフォンやゲーム機の高機能化や、産業用の自律自走ロボットなどの普及に伴い、周辺情報を三次元的に収集できる3Dセンサの市場拡大が期待されています。特にToF(Time of Flight)方式の3D距離画像センサは、近年の技術開発の進展に伴い、小型かつ低消費電力という特徴から多くの機器デバイスで採用が進んでいます。

凸版印刷は、ブルックマンテクノロジーの持つ独自のToFセンサ設計技術である、高速撮像性/長距離測定性/外乱耐性を活用し、「外で使いにくい」「残像が発生する」などの、3Dセンサ普及の課題を克服した実用性の高いToFセンサを開発し、3Dイメージセンシング市場へ本格参入を目指します。

■ 期待されるシナジー

① 高性能 ToF センサ開発の推進

ブルックマンテクノロジーの持つ各種イメージセンサ開発実績およびToFセンサ設計技術と、凸版印刷の半導体回路設計技術を組み合わせ、高性能で実用性の高いToFセンサの開発を行っていきます。

② 3D センシング事業の推進

ブルックマンテクノロジーと共同で推進している自律自走ロボット、ゲーム/AR分野で活用される3Dイメージセンシング領域の研究を加速させ、早期の事業化を実現します。

③ ToF センサを軸とした新規事業の創出

凸版印刷の推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)において、現実世界のデータ化を担う3Dイメージセンシング技術は非常に重要な技術です。この技術を駆使することで、センサ単体だけでなく、センサを用いた既存事業のDXや新たな新規事業の創出を目指します。

■ 対象会社の概要

取得する企業の名称	株式会社ブルックマンテクノロジー
本社所在地	静岡県浜松市
代表者名	代表取締役会長：川人 祥二 代表取締役社長：青山 聡
事業内容	・各種カスタムイメージセンサ受託開発 ・2D センサ開発・販売 ・3D センサ(ToF センサ)開発・販売
資本金	3,000 千円(2021年2月時点)
売上高	592,682 千円(2020年3月期)
株式会社取得予定日	2021年3月22日(月)
株式取得比率	89.1%

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上